

# 2014年度研究分科会行事と研究内容について

(※行事は一部変更の可能性もございます)

研究部会長：大武 義人

分科会名／主査	行事と研究内容
<b>接着研究分科会</b>  岩手大学 平原 英俊	<b>【シンポジウム】</b> 6月3日(火) 終了  <b>【研究内容】</b> ゴム接着技術は、ゴム工業における極めて重要な生産加工技術の一つである。直接接着技術および接着剤を適用する間接接着技術の双方を基礎的、理論的観点から討議し、実際に役立つ技術開発を目指している。
<b>金型研究分科会</b>  関西ゴム技術研修所 山口 幸一	<b>【シンポジウム】</b> 2015年4月15日(水) 於 久留米市 受講料 ゴム協会員 23,760円 学生会員 5,400円 会員外 32,400円  <b>【研究内容】</b> ゴム用金型に関わる金型作製、金型汚染対策、洗浄などの技術課題に対し、情報の収集・交換や専門技術講演、見学会などを通じ相互を研鑽し、課題解決を目指すと共に、技術の伝承と業界へのこれら成果の普及啓蒙を図る(ものづくりに関わる数少ない研究分科会の一つとして業界の高い期待に応える)。
<b>ゴムの力学研究分科会</b>  横浜ゴム(株) 小石 正隆	<b>【講習会】</b> 8月22日(金) 終了  <b>【研究内容】</b> ゴム材料やゴム製品の力学挙動に関し、解析、実験、シミュレーション(CAE)という異なる視点からの情報や、企業、大学、ソフトベンダーという異なる立場からの情報を交換し議論する場を提供することで、ゴムの力学研究の発展と応用展開に貢献する。
<b>エラストマーの補強研究分科会</b>  ロンドン大学 深堀 美英	<b>【シンポジウム】</b> 2015年1月16日(金) 終了  <b>【研究内容】</b> エラストマーの補強を“材料”、“補強構造・補強メカニズム”、“補強効果”の3つの要素として捉え、互いの関係を様々な“測定、解析法”によって探ると共に、3者の統合をめざす。
<b>ゴム練り研究分科会</b>  (株)久留米リサーチ・パーク 藤 道治	<b>【シンポジウム】</b> 9月25日(木)・26日(金) 終了  <b>【研究内容】</b> ゴム練りには、ゴム製品に対応した様々な練り方があり、また、多用されているインターナルミキサーの練り挙動が複雑であることなど多種多様な技術課題がある。年4回の分科会を通じてこのような課題を少しずつ調査検討して明らかにし、実際に役立つゴム練り技術を見出してゆくことを目指す。
<b>成形加工技術研究分科会</b>  元・横浜ゴム(株) 石川 泰弘	<b>【シンポジウム】</b> 10月16日(木) 終了  <b>【研究内容】</b> ゴムの成形加工技術の体系化と新規技術の調査と開発のための活動を行う。その活動により工程中に未加硫ゴムがいかなる変化をし、それがゴム製品の精度と生産性にどのような影響を与えるかを配合、混合、押出、加硫の各成形工程を通して見ることにより各工程間の相互関係を明らかにする。

<p>分析研究分科会</p> <p>協和界面科学(株) 星 堃 由典</p>	<p>【シンポジウム】 11月7日(金) 終了</p> <p>【研究内容】 材料の分析・解析を専門とする研究者の集まりであり、分科会を4回/年、シンポジウムを1回/年開催して、切磋琢磨している。分科会活動①外部講師による最新分析技術に関する技術講演②分科会会員による日頃の成果の技術講演③外部分析機関等の見学(年1回開催)④新規分析手法や技術に関する文献調査および討論</p>
<p>トライボロジー研究分科会</p> <p>金沢大学 岩井 智昭</p>	<p>【シンポジウム】 2015年1月22日(木) 終了</p> <p>【研究内容】 ゴム材料の摩擦・摩耗・潤滑に関して、材料設計、実験やシミュレーションなど幅広い視点から捉えるとともに、地球環境保全のための高効率化、省資源化、リサイクル化などを考慮したゴム・エラストマーのトライボロジー設計に対する基礎的から先進的研究を討論し探求する。</p>
<p>環境劣化研究分科会</p> <p>電気化学工業(株) 藤井 信彦</p>	<p>【シンポジウム】 2015年2月4日(水) 終了</p> <p>【研究内容】 ゴム製品の様々な環境下での老化・疲労・寿命・劣化の検出方法、対策等 劣化に関し、あらゆる角度から共同調査、研究を行っている。また、各界の劣化に関する第一人者を招き、勉強会を行い、分科会会員相互の研讃を図っている。分科会終了後は、毎回自由参加により懇親会を実施し、更に深い情報交換とメンバー相互の親睦を図っている。</p>
<p>衛生問題研究分科会</p> <p>長岡技術科学大学 河原 成元</p>	<p>【シンポジウム】 2015年2月27日(金) 於 東京 受講料 ゴム協会員 23,760円 学生会員 5,400円 会員外 32,400円 ※本号会告掲載中。</p> <p>【研究内容】 ゴム製品(原料ゴムを含む)、ゴム用薬品、プラスチック関連物質の生体安全性及び規制等に関する自主的調査研究や大学、公的機関と連携して先端情報の収集活動を行う。</p>
<p>配合技術研究分科会</p> <p>横浜ゴム(株) 鹿久保 隆志</p>	<p>【シンポジウム】 2015年3月13日(金) 於 東京 受講料 ゴム協会員 23,760円 学生会員 5,400円 会員外 32,400円 ※本号会告掲載中。</p> <p>【研究内容】 企業、大学、公的機関から過去の配合手法や新しい原材料・技術等を紹介することで相互に勉強し、参加者各自のレベルアップ、さらには業界全体のレベルアップを目指した活動を行い、ゴム産業の発展に貢献する。</p>
<p>新世代エラストマー技術 研究分科会 東京工業高等専門学校 山本 祥正</p>	<p>【シンポジウム】 今年度は開催しない。</p> <p>【研究内容】 天然ゴム、グアユールゴム、新規合成ゴムおよびゴム関連材料の構造や物性に影響を与える様々な要因を細部にわたって探求し、ゴム製品の分子レベルにおける真の姿をあらわにすることを目的としている。目的を達成するため、若手メンバー間でゴム材料の構造解析や物性評価法を検討し、それらの情報共有、ネットワーク構築、コア討議、成果報告およびゴム関連メーカーでの新規材料技術習得を行う。</p>
<p>水素機器用エラストマー材料 研究分科会</p> <p>九州大学 西村 伸</p>	<p>【シンポジウム】 7月25日(金) 終了</p> <p>【研究内容】 ゴム・エラストマー材料の材料強度や化学構造に対する高圧水素の影響評価、ゴム・エラストマー材料と水素の相互作用の解明に関する学術的な議論を進め、水素機器に使用される水素ガスシール用ゴム・エラストマー材料の素材開発、シール部材開発、シール部材ユーザーという異なる視点や立場からの情報を交換し議論する場を提供し、水素ガスシール用エラストマー材料の研究開発の発展と応用展開を目指す。</p>

ご興味やご関心のある分科会がございましたらぜひともご参加のうえ、今後のお仕事・ご研究のお役に立ててください。なお、研究活動費として1万円程度の年会費が必要となります。また、日本ゴム協会の会員であることがご入会の条件となります。迷われている方、一度ご相談ください。

お問合せ先 研究部会担当：中川 TEL. 03-3401-2957 FAX. 03-3401-4143  
E-mail : nakagawa@srij.or.jp